

利用者が少ない地域に新しく産婦人科ができ、医師が集まるということは、現実的に難しいことです。社会保険病院の利用者が少ないままでは、いざ社会保険病院から産婦人科がなくなってしまうかもしれません。

「勝山で出産したい」という市民の声が多くありますが、今のままでは、いつまでも勝山で出産できないようにはならないでしょう。これまで述べてきたように、市内唯一の産婦人科がある社会保険病院は、大学病院を中心とした出産支援連携体制が整っています。社会保険病院の利用者が増えて、医師の数が増えることで、再び「勝山で出産ができる」体制を目指していきます。



勝山で 出産できる体制を つくるために

勝山市は「子育て環境日本一」を目指します

※①、②については、3月の市議会で審議中（3月7日現在）

- ③すくすく育成奨励金
(第3子以降に奨励金を支給)
- 第3子 30万円
 - 第4子 40万円
 - 第5子以降 50万円

※出生の翌月に10万円、その後誕生月ごとに10万円を支給します

- ④保育料の軽減
(軽減率は県内トップクラス!)
- ・2人同時入園の場合
2人目の保育料が2分の1
 - ・第3子以降の場合
3歳未満児は保育料が無料
3歳以上児は保育料が2分の1

- ⑤小学校放課後学童保育
- ・児童センター（10か所）
すべての小学生が、安全安心に遊べる場所を提供します（利用無料）
 - ・日中一時支援事業
障がい児が放課後や長期休暇中に障がい者施設を利用した場合の利用料を全額無料とします

新年度新規助成事業

- ①「出産連携支援」
にここ妊婦奨励金（案）
(出産支援連携体制の利用促進を図る)

【対象】 次の要件をすべて満たす方

- ・勝山市内に住所を有する
- ・定期の妊婦健診を、1回目から少なくとも妊娠23週までは福井社会保険病院で受ける
- ・出産支援連携体制により福井大学医学部附属病院など、県内の医療機関で平成24年4月1日以降に出産する

【奨励金額】 10万円

- ②子ども医療費の助成（案）
(中学校修了まで医療費を助成)

区 分		1医療機関あたりの自己負担限度額
就学前児童		自己負担なし
小学生 中学生	外 来	500円/月
	入 院	500円/日 (4,000円/月)

- ④ ①については
健康長寿課（すこやか内） ☎87-0888
②～⑤については
福祉・児童課（すこやか内） ☎87-0777



福井社会保険病院



参加者から多くのご意見がありました

この連携によって、社会保険病院で健診を受けると、出産を希望する県内の病院（大学病院や福井愛育病院など）で出産できます。そのため、妊婦が健診のたびに遠くの病院まで通わなくて済み、また、健診から出産までを担当していた大学病院等の健診の数が減ることとなります。

出産予約はスムーズ

出産までに病院が変わるのはちよつと…

このような出産支援連携体制が整えられているにもかかわらず、社会保険病院で妊婦健診を受診する方が少なくなっています。これは、シンポジウムで参加者から意見があったように「社会保険病院で出産できないのなら、初めから出産できる病院に通いたい」という気持ちに影響していると考えられます。

社会保険病院の産婦人科に通院して、1人目は県立病院で出産しました。最初は、福井の産婦人科にかかったこともありましたが、移動時間がかかるうえに病院での待ち時間が長いこともあって、自宅や職場から近い社会保険病院に通うことにしました。

社会保険病院に通い始めてすぐに「この病院では出産はできません。出産を希望する病院を考えたうえでください。」と先生に言われましたが、特に希望もなかったの「お勧めの病院で」とお願いしました。それが大学病院でした。



高畑 みゆきさん
＝片瀬町2＝

2児の母。ともに社会保険病院と大学病院群との連携体制を利用して出産。写真右は長男の聡一郎くん、左は次男の琳太郎くん。

スタッフの丁寧な対応が、大きな安心感に

初めての出産なので、出産する病院が変わることへの不安はあまりありませんでした。紹介状を持って大学病院に初めて受診したときは、先生やスタッフの対応がとても丁寧だったので、出産に対する安心感がぐっと増えました。

ただ、大学病院の産科病棟は子ども禁制のため、2人目の出産では、子どもにガラス越しでも赤ちゃんを見せてあげたいという思いがあったので、違う病院を選びました。

もし3人目を産む機会があったら、また社会保険病院を利用して出産したいです。

表1 社会保険病院産婦人科の担当医の一覧

月	火	水	木	金
※	品川明子 医師	※	※	黒川哲司 医師

※助産師・保健師による妊婦相談等を実施

今年1月から、大学病院から新しい医師が派遣されて、週2日（火曜、金曜）診療しています。（お2人については、本紙裏面にてご紹介しています）

なお、それ以外の日は、助産師や保健師が出産に関する相談を受け付けるなど、幅広いサポートを行っています。

社会保険病院の 産婦人科医療体制